

日本視覚学会 2010 年冬季大会プログラム

期 日：2010 年 1 月 20 日（水）～1 月 22 日（金）

場 所：工学院大学・アーバンテックホール（高層棟 3 階）

〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2（新宿駅西口より徒歩 5 分）

（アクセス <http://www.kogakuin.ac.jp/map/shinjuku/index.html>）

主 催：日本視覚学会

- 一般講演（口頭発表）は発表時間 10 分質疑 5 分の計 15 分です。
- 一般講演では、PC 用プロジェクタを使用できます。それ以外の機器をご希望の方は早めに実行委員会にご連絡下さい。講演者は発表セッションの前に、使用機材のご確認をお願いいたします。
- ポスター発表用のパネルの大きさは、幅 180cm 高さ 90cm です。取り付け用のピンは会場に用意されます。ポスターは、当日午前 9 時 30 分頃から終了時刻まで掲示しておくことができます。
- ポスター発表の在籍責任時間は、20 日は奇数番号が午後 4 時から 5 時、偶数番号が午後 5 時から 6 時です。21 日と 22 日は、奇数番号が午前 10 時から 11 時、偶数番号が午前 11 時から 12 時です。
- 学生の発表（口頭発表・ポスター発表）を対象とした「ベストプレゼンテーション賞」の選考を行います。
- 使用言語は、日本語または英語とします。

1日目(2010年1月20日水曜日)

- 9:50-10:00 開会
- 10:00-11:00 セッション1(一般講演) 座長:丸谷和史
- 1o01 自然画像の速度知覚に用いられる情報
竹内龍人, Théodore Puntous, Anup Tuladhar
(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
- 1o02 運動情報による乳児の「顔」選好の促進について
鶴原亜紀¹, 市川寛子¹, 金沢 創², 山口真美^{3,4}
(中央大学研究開発機構¹, 日本女子大学人間社会学部², 中央大学文学部³, PRESTO, JST⁴)
- 1o03 回転する図形の速度知覚はいかにして決まるか?
永井里志, 佐藤俊治, 阪口 豊
(電気通信大学大学院情報システム学研究科)
- 1o04 先行刺激の提示により生じる色と運動の知覚的誤結合
阿部 悟^{1,2}, 木村英司³, 御領 謙⁴
(千葉大学大学院融合科学研究科¹, 日本学術振興会²,
千葉大学文学部³, 京都女子大学発達教育学部⁴)
- 11:10-12:10 セッション2(一般講演) 座長:横井健司
- 1o05 時間コントラスト感度に対する注意の効果
本吉 勇(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
- 1o06 準備ができた時とは一内観的注意シフトと視覚感度
山岸典子^{1,2,3}, Stephen Anderson⁴, 川人光男¹
(ATR脳情報研究所¹, 科学技術振興機構さきかけ²,
独立行政法人情報通信研究機構³, Aston University⁴)
- 1o07 画像に対する注意位置の被験者数に関する研究
谷田真悟¹, 石井雅博², 唐 政², 山下和也²
(富山大学院理工学教育部¹, 富山大学²)
- 1o08 画像観察時のボトムアップ・トップダウン型注意の推移
瀧川佳範¹, 石井雅博²
(富山大学大学院理工学教育部知能情報工学専攻¹, 富山大学²)
- 13:30-14:15 セッション3(特別講演) 座長:内川恵二
知覚学習における注意と報酬の役割について
渡邊武郎(ボストン大学)
- 14:30-15:00 セッション4(一般講演) 座長:竹内龍人
- 1o09 鏡面ハイライトと陰影の知覚的統合
酒井 宏, 明治涼子(筑波大学大学院システム情報工学研究科)
- 1o10 ハイライトに許される色を決定する神経処理の一つの仮説
西田真也, Lisa Nakano, 本吉 勇, 丸谷和史

- 15:05-15:50 セッション5 (特別講演) 座長：竹内龍人
視覚の性質を利用するコンピュータグラフィクス
山口 泰 (東京大学)
- 16:00-18:00 セッション6 (ポスターセッション)
- 1p01 2色覚者の色名応答課題における刺激提示時間の影響
齋藤晴美^{1,2}, 岡嶋克典³
(横浜国立大学大学院環境情報学府¹, NTT サイバーソリューション研究所²,
横浜国立大学大学院環境情報研究院³)
- 1p02 色の見えと色グルーピングに基づく色差特性の比較
永井岳大, 中内茂樹 (豊橋技術科学大学工学部情報工学系)
- 1p03 視覚的注意が色認識に与える影響と色モードの違い
道佛竜也, 矢口博久, 溝上陽子 (千葉大学大学院融合科学研究科)
- 1p04 左右眼刺激の色の違いが両眼立体視に与える影響
星山美佳¹, 石井雅博², 唐 政², 山下和也²
(富山大学工学部知能情報工学科¹, 富山大学²)
- 1p05 両眼視差による形状の歪みは視差パターンに依存するのか?
玉田靖明, 佐藤雅之 (北九州市立大学大学院国際環境工学研究科)
- 1p06 局所運動の統合に関する神経活動
天野 薫^{1,2}, 丸谷和史², 西田真也²
(東京大学大学院新領域創成科学研究科¹, NTT コミュニケーション科学基礎研究所²)
- 1p07 回転運動錯視における色要素の影響
瀬川大貴¹, 栗木一郎^{1,2}, 松宮一道^{1,2}, 塩入 諭^{1,2}
(東北大学大学院情報科学研究科¹, 東北大学電気通信研究所²)
- 1p08 追跡眼球運動による等輝度運動の速度補償
寺尾将彦, 村上郁也 (東京大学大学院総合文化研究科)
- 1p09 交通シーンの受動的観察時における視線分布特性
堺 浩之, 辛 徳, 内山祐司 (豊田中央研究所先端研究センター)
- 1p10 次世代カーナビゲーションシステムにおける仮想道路標識の奥行き知覚：模擬する
大きさの調整の効果
花村義大¹, 鈴木雅洋², 上平員丈^{1,2}
(神奈川工科大学情報学部情報ネットワーク工学科¹,
神奈川工科大学ヒューマンメディア研究センター²)
- 1p11 裸眼立体ディスプレイと平面ディスプレイ観察時における輻輳と焦点調節の測定
根岸一平¹, 水科晴樹¹, 安藤広志², 河内山隆紀¹, 正木信夫¹
(株式会社国際電気通信基礎技術研究所メディア情報科学研究所¹,
独立行政法人情報通信研究機構²)
- 1p12 鏡に映った手位置が視覚的捕捉により錯覚される現象が消滅する条件について
—実際の手の位置と錯覚される手の位置の距離の関係から—

葎田貴子¹, 宮崎由樹², 和氣典二³
(東京大学大学院情報学環¹, 首都大学東京大学院人文科学研究科²,
神奈川大学人間科学部人間科学科³)

- 1p13 有効視野課題における補助刺激の影響
瀬谷安弘¹, 筒井健一郎¹, 渡邊克巳^{1,2} (東北大学¹, 東京大学²)
- 1p14 二丸の誘目性
横井浩之¹, 石井雅博², 唐 政², 山下和也², 畑 知美¹
(富山大学工学部知能情報工学科¹, 富山大学²)
- 1p15 一過性信号による定常的視覚誘発電位の変調の時間特性
柏瀬啓起¹, 松宮一道^{1,2}, 栗木一郎^{1,2}, 塩入 諭^{1,2}
(東北大学大学院情報科学研究科¹, 東北大学電気通信研究所²)
- 1p16 ニワトリにおけるアモーダル延長の検討
中村哲之^{1,2}, 渡辺創太^{2,3}, 別役 透³, 藤田和生³
(千葉大学文学部¹, 日本学術振興会², 京都大学大学院文学研究科³)
- 1p17 光沢感知覚におけるハイライトの輪郭の影響
富士原正彦¹, 山内泰樹²
(山形大学工学部情報科学科¹, 山形大学大学院理工学研究科²)
- 1p18 空間認識条件が写真内写真における形の恒常性に与える影響
下釜 央, 溝上陽子, 矢口博久 (千葉大学大学院融合科学研究科)
- 1p19 輪郭の同期/非同期による形状知覚の変調—ゲシュタルトと同期の拮抗
松本隆二¹, 近藤慧一¹, 酒井 宏²
(筑波大学第三学群情報学類¹, 筑波大学大学院システム情報工学研究科²)
- 1p20 線画刺激の識別判断について
谷口康祐, 田山忠行 (北海道大学大学院文学研究科)
- 1p21 頭部と脚部の回転を用いて行われた能動的な全身回転の再生
川中栄奈 (立命館大学大学院)
- 1p22 知覚学習後の睡眠中における脳活動
佐々木由香^{1,2}, 四本裕子^{1,2}, 渡邊武郎³
(マサチューセッツ総合病院¹, ハーバード大学医学部², ポストン大学³)
- 18:00-19:00 幹事会

2日目 (2010年1月21日木曜日)

- 10:00-12:00 セッション7 (ポスターセッション)
- 2p01 奥行き構造が Motion binding に与える影響
中嶋 豊¹, 佐藤隆夫²
(東京大学インテリジェント・モデリング・ラボラトリー¹,
東京大学大学院人文社会系研究科²)
- 2p02 三次元回転運動による錯視が顔集団の平均向き評価へ与える影響
橋本耕太郎¹, 松宮一道^{1,2}, 栗木一郎^{1,2}, 塩入 諭^{1,2}
(東北大学大学院情報科学研究科¹, 東北大学電気通信研究所²)

- 2p03 追跡眼球運動中の“運動による位置ずれ知覚”
久方瑠美, 寺尾将彦, 村上郁也 (東京大学大学院総合文化研究科)
- 2p04 単眼内と両眼間色マスクングによる色方向依存性の比較から推測される高次色チャンネル特性
吹野徳彦, 内川恵二 (東京工業大学大学院総合理工学研究科)
- 2p05 閾値面積曲線を用いた White on White 及び Blue on Yellow Perimetry による網膜神経節細胞受容野特性の検討
登澤達也, 可児一孝, 河本健一郎, 田淵昭雄, 奥野勇夫
(川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科感覚矯正学専攻)
- 2p06 視差が形の恒常性に与える影響
前田隼希¹, 石井雅博², 唐政², 山下和也²
(富山大学工学部知能情報工学科メディア情報第2講座¹, 富山大学²)
- 2p07 両眼視差が隣接する単眼視領域の奥行き知覚に与える影響
藤井芳孝, 福田一帆, 金子寛彦
(東京工業大学大学院総合理工学研究科)
- 2p08 長方形の奥行き順序の知覚の異方性に関する検討
清久雄大¹, 伊藤裕之², 須長正治²
(九州大学大学院芸術工学府¹, 九州大学大学院芸術工学研究院²)
- 2p09 放射状拡大流動映像下で得られる視空間のゆがみ
山本慶洋¹, 栗井宏明², 芝田遼輔², 朝尾隆文³, 堀井健³, 小谷賢太郎³
(関西大学大学院理工学研究科¹, 関西大学工学部², 関西大学システム理工学部³)
- 2p10 自己運動知覚を担う視覚系と前庭感覚系との統合過程の時間特性
久保寺俊朗¹, Philip M. Grove², 坂本修一³, 鈴木陽一³, 櫻井研三¹
(東北学院大学教養学部¹, The University of Queensland², 東北大学電気通信研究所³)
- 2p11 周辺視野刺激による視覚性誘導自己運動感覚の抑制・促成
吉村達也¹, 篠田博之², 山口秀樹²
(立命館大学理工学研究科¹, 立命館大学情報理工学部知能情報学科²)
- 2p12 Affect Grid を用いた表情戻り過程における真顔の心理的布置の検討
伊師華江¹, 行場次朗² (仙台高等専門学校¹, 東北大学²)
- 2p13 若年評価者の好ましい肌色に関する研究
後藤直哉¹, 山内泰樹²
(山形大学工学部情報科学科¹, 山形大学大学院理工学研究科²)
- 2p14 盲点をはさむ整列していない線分の知覚の異方性
蘭悠久 (立命館大学グローバルイノベーション研究機構)
- 2p15 ハトにおけるカテゴリ探索課題：妨害刺激の効果について
大北碧¹, 實森正子², 大林芳江²
(千葉大学大学院人文社会科学研究科¹, 千葉大学文学部²)
- 2p16 複数の多義図形を同時に提示した際の反転同時性
宮原祐樹, 鶴飼一彦 (早稲田大学理工学部)
- 2p17 視聴覚刺激の同期性が視覚刺激の印象形成に及ぼす効果
山田美悠, 一川誠 (千葉大学文学部)

- 2p18 ケータイ小説読書時の改行時における眼球運動特性の分析
 萩原秀樹¹, 鈴木承子², 恵良悠一³, 山田光穂¹
 (東海大学大学院工学研究科情報理工学専攻¹, 共同印刷株式会社²,
 東海旅客鉄道株式会社³)
- 2p19 自動車のウィンドシールドに交通情報を提示した際の眼球運動による視認性評価
 岡本淳志¹, 水野淳也², 恵良悠一³, 萩原秀樹¹, 山田光穂¹
 (東海大学大学院工学研究科情報理工学専攻¹, アルパイン株式会社²,
 東海旅客鉄道株式会社³)
- 2p20 次世代カーナビゲーションシステムにおける仮想道路標識の奥行き知覚：走行後停車時の検討
 小泉良太¹, 鈴木雅洋², 上平員丈^{1,2}
 (神奈川工科大学情報学部情報ネットワーク工学科¹,
 神奈川工科大学ヒューマンメディア研究センター²)
- 2p21 GPS 組込型眼球運動測定装置を用いた人の歩行時の行動分析
 伏見太輔¹, 萩原秀樹², 山田光穂¹, 恵良悠一³
 (東海大学情報理工学部情報科学科¹, 東海大学大学院工学研究科情報理工学専攻²,
 東海旅客鉄道株式会社³)
- 2p22 ローパスフィルタリング法による平仮名文字線幅の検討
 川嶋英嗣, 鬼頭典子 (愛知淑徳大学医療福祉学部視覚科学専攻)
- 13:30-14:40 セッション 8 (チュートリアル講演) 座長：西田眞也
 感情が彩る知覚世界
 北川智利 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所)
 画像・映像圧縮符号化における視覚特性の利用
 高村誠之 (NTT サイバースペース研究所)
- 14:50-15:50 セッション 9 (一般講演) 座長：天野 薫
 2o01 仮現運動の知覚における参照枠
 朝倉暢彦, 乾 敏郎 (京都大学大学院情報学研究科)
 2o02 視覚表象と運動表象の比較 2
 山崎隆紀¹, 松宮一道^{1,2}, 栗木一郎^{1,2}, 塩入 諭^{1,2}
 (東北大学大学院情報科学研究科¹, 東北大学電気通信研究所²)
 2o03 運動検出閾は揺れの大きな方の眼の固視微動量と相関する
 村上郁也 (東京大学大学院総合文化研究科)
 2o04 フラッシュラグ効果への速度の影響
 塩入 諭 (東北大学電気通信研究所)
- 16:00-17:00 セッション 10 (一般講演) 座長：永井岳大
 2o05 白色有機 EL 照明下でのカテゴリカル色知覚
 山内泰樹 (山形大学大学院理工学研究科)

- 2o06 クリア IOL と着色 IOL の色の見え評価
矢吹貴寛, 大沼一彦 (千葉大学大学院工学研究科)
- 2o07 照明光源の違いが眼疲労へ与える影響 一負荷時間と焦点調節応答時間の関係一
山口秀樹¹, 山田留美², 篠田博之¹, 東 洋邦³
(立命館大学情報理工学部知能情報学科¹, 立命館大学大学院理工学研究科²,
東芝ライテック株式会社³)
- 2o08 Optical-geometric size contrast illusions and lightness
Olga Daneyko¹, Daniele Zavagno², Lucia Zanuttini³, 櫻井 研三⁴
(University of Trieste¹, University of Milano-Bicocca²,
University of Udine³, Tohoku Gakuin University⁴)
- 17:10-17:55 セッション 11 (一般講演) 座長: 朝倉暢彦
- 2o09 前後方向の頭部運動に伴う運動視差の垂直・水平成分に関する研究
藤田昌志¹, 石井雅博², 唐 政², 山下和也², 佐藤雅之³
(富山大学大学院理工学教育部知能情報工学専攻¹, 富山大学², 北九州市立大学³)
- 2o10 主観的奥行き量への輝度コントラストの影響
松原和也¹, 松宮一道¹, 塩入 諭¹, 高橋修一², 石川貴規², 大橋 功²
(東北大学電気通信研究所¹, ソニー株式会社コアデバイス開発本部²)
- 2o11 垂直に配置された視覚刺激の奥行き位置と提示順序の知覚
一川 誠 (千葉大学文学部)
- 18:00-19:00 世話人会

3 日目 (2010 年 1 月 22 日金曜日)

- 10:00-12:00 セッション 12 (ポスターセッション)
- 3p01 Extremal Edges における奥行き定位仮説の検討
梅田継仁, 鶴飼一彦 (早稲田大学大学院先進理工学研究科)
- 3p02 両眼立体視における二重像の奥行き知覚に網膜像位置が与える影響
福田一帆¹, Laurie M. Wilcox²
(東京工業大学大学院総合理工学研究科¹, Centre for Vision Research, York University²)
- 3p03 A computational model of relative disparity discrimination underlying effects of surround areas on reversed depth perception
青木俊太郎, 塩崎博史, 藤田一郎
(大阪大学大学院生命機能研究科認知脳科学研究室)
- 3p04 両眼視における速度知覚の促進的効果
横山光太郎¹, 石井雅博², 唐 政², 山下和也²
(富山大学知能情報工学科¹, 富山大学²)
- 3p05 注視点を与えた時のダブルネイル錯視刺激の見え方
五十嵐理恵¹, 石井雅博², 唐 政², 山下和也²
(富山大学理工学教育部知能情報工学専攻¹, 富山大学²)
- 3p06 ジター運動付加が視覚誘導性自己運動知覚に及ぼす影響
中村信次 (日本福祉大学子ども発達学部)

- 3p07 静止画による運動錯視の時間特性の比較
富松江梨佳^{1,2}, 伊藤裕之³, 須長正治³
(九州大学大学院芸術工学府¹, 日本学術振興会², 九州大学大学院芸術工学研究院³)
- 3p08 仮現運動軌跡上における色弁別感度の低下
木村啓人, 永井岳大, 中内茂樹 (豊橋技術科学大学情報工学系)
- 3p09 運動の同期により群化した領域内における明るさ処理のメカニズム
澤山正貴¹, 木村英司²
(千葉大学大学院人文社会科学部¹, 千葉大学文学部²)
- 3p10 運動による色誘導効果における視覚的注意の影響
吉田和輝¹, 内川恵二²
(東京工業大学工学部情報工学科¹, 東京工業大学大学院総合理工学研究科²)
- 3p11 乳児における光沢の知覚
楊 嘉楽¹, 大塚由美子², 金沢 創², 山口真美³, 本吉 勇⁴
(中央大学文学研究科¹, 日本女子大学², 中央大学・科学技術振興機構さきかけ³,
NTT コミュニケーション科学基礎研究所⁴)
- 3p12 事象関連電位による顔色知覚の検討
中島加恵, 南 哲人, 中内茂樹 (豊橋技術科学大学情報工学系)
- 3p13 知覚される乱雑さへの物理的な一様さの影響
松田勇祐, 福田一帆, 金子寛彦
(東京工業大学大学院総合理工学研究科)
- 3p14 水彩効果図形において輪郭の相対輝度が拡散色に及ぼす影響
黒木美日子, 木村英司 (千葉大学文学部)
- 3p15 没入観のある視覚刺激が異なる観察姿勢で知覚されるベクションに及ぼす影響
棚橋重仁^{1,2}, 氏家弘裕², 鶴飼一彦¹
(早稲田大学大学院先進理工学研究科¹, 独立行政法人産業技術総合研究所²)
- 3p16 映像酔いにおける能動運動時と受動運動時の主観的評価
田中暢之¹, 篠田博之², 山口秀樹²
(立命館大学理工学研究科¹, 立命館大学情報理工学部知能情報学科²)
- 3p17 視覚探索課題遂行中におけるマイクロサッカードの発生頻度の時間的変化
十河宏行 (愛媛大学法文学部人文学科)
- 3p18 視覚的注意の神経機構を考慮した視覚探索モデル
杉本圭佑¹, 小濱 剛²
(近畿大学大学院生物理工学研究科電子システム情報工学専攻¹,
近畿大学生物理工学部電子システム情報工学科²)
- 3p19 周辺視野におけるオブジェクト形状知覚の異方性
山本直樹¹, 藤本 清², 松尾典義², 八木昭宏³
(関西学院大学大学院文学研究科¹, 富士重工業株式会社²,
関西学院大学文学部総合心理科学科³)
- 3p20 刺激の時間間隔が文字照合課題時の脳磁場におよぼす影響
富成哲也, 河原哲夫, 吉澤達也
(金沢工業大学人間情報システム研究所)

- 3p21 閾値面積曲線を用いた網膜神経節細胞検査法の検討
奥野勇夫, 可見一孝, 河本健一郎, 田淵昭雄, 登澤達也
(川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究所)
- 3p22 チェンジブラインド課題における学習と瞳孔反応の関係
茨田和樹, 横井健司, 野口泰明 (防衛大学校応用物理学科)
- 13:30-14:15 セッション 13 (特別講演) 座長: 蒲池みゆき
乳児の視覚世界—研究方法と近年のトピックスについて
山口真美 (中央大学/さきがけ)
- 14:25-15:25 セッション 14 (一般講演) 座長: 本吉 勇
- 3o01 新聞広告における視覚表現の構成と短期記憶の関係
尾形拓哉¹, 木嶋 彰², 伊藤弘樹², 滝沢正仁²
(拓殖大学大学院工学研究科工業デザイン学専攻造形計画研究室¹,
拓殖大学工学部工業デザイン学科²)
- 3o02 コントラスト定義の空間オフセットの残効はキャリアの方位に依存する
小林憲史, 村上郁也 (東京大学大学院総合文化研究科)
- 3o03 先行視覚刺激における Gabor コントラスト弁別閾の向上
田中靖人
(株)三城光学研究所, NPO 法人ニューロクリアティブ研究会, 金沢工業大学)
- 3o04 視線の水平と奥行き知覚特性
蒲池みゆき¹, 桜井謙次¹, 関根祥介², 赤松 茂³
(工学院大学情報学部¹, 法政大学大学院工学研究科², 法政大学理工学部³)
- 15:35-16:20 セッション 15 (一般講演) 座長: 一川 誠
- 3o05 2次運動信号は1次運動信号と協調して窓問題を解決できる
丸谷和史, 西田眞也 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所)
- 3o06 fMRI 順応法による「蛇の回転」錯視の検討
蘆田 宏¹, 栗木一郎², 村上郁也³, 北岡明佳⁴
(京都大学大学院文学研究科¹, 東北大学大学院情報科学研究科²,
東京大学大学院総合文化研究科³, 立命館大学文学部⁴)
- 3o07 Rotating snakes: factors of intensity of the illusory motion
Jasmina Stevanov¹, Akiyoshi Kitaoka², Suncica Zdravkovic¹
(University of Novi Sad, Department of Psychology, Novi Sad, Serbia¹,
立命館大学文学部人文学科心理学専攻²)
- 16:30-17:00 セッション 16 (チュートリアル講演) 座長: 蘆田 宏
近年の PC 向けアーキテクチャを利用した視覚刺激の提示
— Psychlops における実装—
細川研知¹, 丸谷和史², 佐藤隆夫¹ (東京大学¹, NTT²)
- 17:00-17:20 総会
- 17:20-17:30 閉会